令和4年度事業評価結果(課•室)総括表

会計区分 一般会計

課•室名 園芸振興課 (単位:千円)

事業区分 財源内訳 評価に基づく今後の対応 実行予算 令和 期 拡機理縮休廃の完の見直し額 見直し額 福井県長期ビジョン 経過 その他 事 業 関連する県の計画等 開始 名 5年度 における位置づけ 区分 経費区分 助の 年数 国庫 起債 特定 予算額 年度 金他 財源 合 直 0 政策的経費 植物工場立地促進事業 継続 0 0 501,363 437,366 成長を創る(産業力) 欠世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 R元 518,784 17,421 継続 0 0 植物工場誘致補助金 政策的経費 成長を創る(産業力) 1,985 794 1,191 欠世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 未来に繋ぐふくいの農業応援事業 新規 政策的経費 成長を創る(産業力) 欠世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 0 0 208,313 5,153 203,160 スマート農業推進基盤整備事業 継続 政策的経費 成長を創る(産業力) 0 5 25.067 24.000 1.067 **ヤ世作へつなぐ 条切あふれるふくいの食・皿・理情計** R2 0 がんばれ特産産地!小さな農業応援事業 継続 政策的経費 成長を創る(産業力) R4 3 17.324 17.324 4.299 ヤ世代へつかぐ 奈望あふれるふくいの食・皿・環境計 0 新規 政策的経費 20,000 20,000 ふくいの農業「女性活躍」応援事業 成長を創る(産業力) R6 欠世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 新規 政策的経費 0 スマートグリーン施設園芸推進事業 成長を創る(産業力) R6 3,000 3,000 マ世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計 0 0 214,302 48,239 0 夢あるふくいの園芸タウン育成事業 継続 政策的経費 成長を創る(産業力) 欠世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 R3 4 262,541 0 0 継続 政策的経費 4 収入保険加入推進事業 成長を創る(産業力) 欠世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 1,862 1,862 1,891 0 O ガッチリ稼ぐフルーツ産地推進事業 継続 政策的経費 成長を創る(産業力) 24,006 7,908 16,098 47,333 p世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・皿・環境計画 新規就農者支援事業 継続 政策的経費 0 0 21 216.680 183.977 32.703 \circ 成長を創る(産業力) H16 38.044 欠世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 園芸経営者誘致事業 継続 政策的経費 0 0 H25 12 22,621 22,621 O 4,238 成長を創る(産業力) ふくい園芸カレッジ研修事業 継続 政策的経費 成長を創る(産業力) 0 11 24.624 11.099 11,923 \circ 女世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 H26 1.602 7,273 O 越前若狭田んぼ道場研修事業 継続 政策的経費 R元 6 7,273 456 成長を創る(産業力) 0 政策的経費 55 「OTAMESHI(お試し)」就農事業 継続 0 0 R4 3 5,970 5,970 成長を創る(産業力) 欠世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 継続 政策的経費 0 0 米粉普及拡大推進事業 成長を創る(産業力) R5 299 299 欠世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 儲かるふくい型農業総合支援事業 終了 政策的経費 成長を創る(産業力) 新ふくいの農業基本計画 0 0 R2 4 0 213.387 0 スマート施設園芸拡大推進事業 終了 政策的経費 成長を創る(産業力) 新ふくいの農業基本計画 0 R2 274,465 0 終了 Ο 地域で育てる園芸人材サポート事業 政策的経費 成長を創る(産業力) 新ふくいの農業基本計画 R2 4 8,000 16 1,360,349 447,233 502,965 8 3 410,151 1,029,534

植物工場立地促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外		部局名	農林水産	部	課名	袁	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主体		県、新規参入	する法人、規模拡大	 する法人	市 改		自 治 事	務事業		実行予算	事業	R元	年度	事業終了		
事業実施方	法	直営、補助			事務区分			事業区分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助率		県2/10~4.5/	10、定額等				法定受託	事務		その他	年度	6	年	度)		
福井県長期ビジ における位置		分 野 政 策	〔 成長を創る〔 農林水産業の	(産業力) D力で福井をブランド)	アップ]	関連する	県の計画等	ί	次世代へつ 画	なぐ、希望	望あふれる	ふくい	の食・農・環	境計 〕	
[解決すべき問題	題・課題]						[問題・課題	を表す客観的	データ]						
			している中、地 ^均 り組む必要がある	或経済を活性させる る。	るため、		・日本	移および増減 122:1億2805 122: 806,3	万人	H27:1億	2709万人	(Δ0.8%		: 1億2570万 _. : 762,679.		
[事業目的]							•									

成長産業として期待されている植物工場への参入検討企業を県内に誘致し、地域の活性化を図る。

[事業内容]

(1)①植物工場立地促進整備補助

補助対象経費 土地の取得費・造成費用、植物工場等の建設費用、栽培機械等の取得経費 等

県補助率 2/10(※生産拠点の全部または一部を閉鎖し県外から県内に工場を移転する場合、3/10)

補助上限額 1億円~10億円

②社宅建設費・住居賃借料補助

事業内容 雇用したU・Iターン者の社宅建設費や住居賃借料を補助

県補助率 社宅建設費 1/10、 住居賃借料 1/2(12か月)

③U・Iターン者雇用促進補助

事業内容 リ・「ターン者を雇用した立地法人に対し定額補助(50万円/人)

- 4)オプション支援
 - ・都市圏等の本社から給与を維持して進出した場合、①の補助率に5%~15%加算
 - ・子育て世帯雇用(U・Iターン者が子育て世代だった場合)③に上乗せ(50万円/世帯)
 - ・若者等が働きたくなる環境整備に補助率 1/2 等
- (2) 県推進活動費(事業主体:県)

[受益者] 新規参入す	「る法人、規模拡大する法人(進出から10年以内)	[想定される受益者数]	4法人(1箇所/年×4年)
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 企業的園芸支援事業 (実績) 平成23年度~平成30年度に植物工場を20法人を採択	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	嶺南の全市町が植物工場への支援を予定している。	他県の状況	【石川県】 雇用拡大関連企業立地促進補助金 ・高度環境制御栽培施設(植物工場)や食品製造工場設置に対する支援 対 象:土地、家屋および償却資産の取得、 県外からの移転費、電気施設設置費 補助率:5%~20% 上 限:10億円

植物工場立地促進事業

区分	継続	経費	区分 政策	헌的経費	要求	基準	外		部月	局名	j	農林水産部		課	名		園芸振	興課		課長名	駒野	雅保
事業主	<u></u>	県、新規	参入する法人	、規模拡大	する法人				自河	台 事	務			実行	予算	事業		R元	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営、補	助				事 務区分					事業区分		補助	カ金 📗	開始	経	過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	果2/10~	4.5/10、定額	等			1 %		法 定	受託事	務	<i>- 7</i>		その) 他	年度		6	年	度)		
区分	事業費	Ì	国国	車	起	債	そ(の他			一般見	財源					国庫、	その他	財源0	D名称等		
予算額		518, 784					(入)	50	1, 363			17, 421	地	!域活性	生化基金	繰入兌	È					
[予算額の推	移等]																				(単位:	千円)
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6 左	F度						令和6年	F度予	算額の	増減理	!由			
놸	首初 予 算 額	の推り	移	147, 158	698	786	956, 150	51	8, 784													
2 月	現計予算	額の	准移	147, 158	698	786	956, 150			令和 額	3 年原	度に補助対象	象事	業指定	した2	去人の	工場が	竣工し	.、事美	業を開始する <i>た</i>	:め、事業	費を増
	決算額の	推移		143, 098	698	764																
前年度ま 主な増減	は理由 ・	令和4年	度 県推進活度 県推進活度 補助対象	動費のみ実施	施		貨物きらべ	ジステ	テーシ	ョン(株)[コ(株) タ	タ ガヤス)に	こ補月	助を行	うため、	事業	費を増	額				
[成果指標等の									. 1													
	区	分		2年度	3年度	4年度	5年度	6 £	F度	中間目		最終目標				目	標・指	標の考	え方・	· 積算根拠		
成果指標	県内植物工 園芸産出額		(目標)	(4)	(6)	(8)	(10)				(10)	(10)	当	該事業	美による	増加額	預 1 (D億円	(R5)		
	四五注山识	(100/1 1/	実績	0	12	19	19				19	19										
活動指標	事業採択数		(目標)	(2)	(3)	(4)					(5)	(5) 4	採	択数	年間 1	箇所						
[事業の評価]]		実績	ı	3	4	_				4	4										
[于本》][[]		責・成果	指標等の定量に	的評価			実績を踏	まえた	:令和(6 年度 <i>0</i>	変更							事	業評価	5		
対象の2法	人に対し補助る	と実施				特になし									拡充継続	<u>;</u>		縮減 休止		終期の見直し完了	見直	し額 437, 366
															整理紛	合		廃止		その他		

植物工場誘致補助金

区分 継網		政策的経費	要求基準	内		部局名	農材	木水産部		課名	遠]芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主体	県、市町、県内	外企業等		± 75		自 治 事		- الله		実行予算	事業	R5	年度	事業終了		
事業実施方法	直営、補助			事務				事業区分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R10	年度
補助率	(1) 1 0 ~ 5 0 %	、(2)10~50%	、(3)定額			法定受託事	₽ 務 -	/յ		その他	年度	2	年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 〔 政 策 〔	7722 2 161 0	(産業力))力で福井をブランド	アップ]]	関連する	県の計画	画等	(次世代へつ 画	なぐ、希望	星あふれる。	らくい	の食・農・環	境計 〕	
[解決すべき問題・課	<u></u>					[問題・課題	を表する	客観的デ	ータ]						
雇用機会および和			域経済を活性させ√ る。	るため、		・日本	H22:1億	意2805万	人	(H22年国勢 H27:1億 H27:7	2709万人	$(\Delta 0.8\%)$: 1億2570万 : 762,679		
[事業目的] 様々な品目を生産 [事業内容] (1)施設整備費		増加している「	中、対象品目を拡き	充して植物]工場	きを誘致する	らことに	こより、	県(の園芸産と	出額の増	額と雇用	機会0	の拡大を図ん	3 .	
対象業 対象経 補 助 ³ 施設整備費 補 助 ³	重 植 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ースト環境整(% ・ン者新規雇用) (人 「雇用) 「円/世帯 は送費 ②燃料 が%	②工場等の建設 備 ⑥テレワーク 総交付限度額 総交付限度額 総交付限度額 総交付限度額 機交付限度額	環境整備 1億円~ 5千万円 5千万円 土地建物賃	~3 C 引 引 賃借米) 億円				建設費・ሰ	注居賃借	料				
	かは最高に (2年1月14、2		2.旧中从人来			「相中土		ビ 坐4 7	O 41	<u>/</u> #						
[受益者] 新規参 <i>入</i> ————————————————————————————————————	、新増設(進出から	10年以内)を行	フ宗内介正未			[想定され	の文金で	3 奴」	3社							
前事業の有無・実績	(実績)	業名 植物工場 st 和 4 年度に 4 社の	Σ地促進事業 植物工場を採択				業の有無 割分担		■ □ (役		事業名					
市町との連携状況	市町においても ている。	独自の支援制度を	整備し、県と協力して	て企業誘致を	·行っ	他県	:の状況		北	――― 陸3県を含		 自治体が企訓	業誘致領	制度を有して	 いる。	

植物工場誘致補助金

区分	継続	経費	区分 政策	货的 経費	要求	基準	内	部	局名	農林水産部	諄	果名	烹	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	E体	県、市町	、県内外企業	等				■ 自	治 事 和		■ 実行	予算	事業	R5	年度			
事業実施	西方法	直営、補	助				事務区分			事業区分	■ 補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R10	年度
補助	率	(1) 1 0 ~	50%, (2)1	0~50%	、(3)定額			□ 法定	受託事		□ そ	の他	年度	2	年	度)		
区分	事	美費	国	車	起	!債	そ(の他	-	般財源			国	庫、その他	財源の	D名称等		
予算額		1, 985		794						1, 191	電源立	地地域対	策交付金	Ž				
[予算額の推	移等]			_			_		_								(単位	: 千円)
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度				令和6年	F度予算	額の増減理	曲			
븰	当初予算	額の推	移				1, 908	1, 985										
2 月	引 現 計 予	算額の	推移				1, 908		展示会	出展費用の値	上げに伴う	5推進費 <i>0</i>	D増					
	決 算 額	の推移																
前年度ま 主な増減 [成果指標等	找理由																	
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5 年度	6年度	中間目標	最終目標			目標	・指標の考	え方・	· 積算根拠		
成果指標	県内植物工 園芸産出額		(目標) :) 実績				(21. 6) 21. 6	(26. 4)	(26. 4	(39. 8)	当該事	業による	増加額	18. 2億円	(R10)			
活動指標	事業採択数	(社/年)	(目標) 実績				(3)	(3)	(3) (3)	採択数	年間3	社					
[事業の評価]											•							
	前年度の	実績・成果	指標等の定量	的評価			実績を踏	まえた令和	6年度の変	更点				事	業評価	ti i		
												拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
農業関係の展: 採択には至ら						変更なし					•	継続		休止		完了		
												整理統	合口	廃止		その他		

未来に繋ぐふくいの農業応援事業

区分	新規	経費区分		要求基準	内		部局名	農林水産部	<u> </u>	課名	唐]芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主事業実施補助。	基本	県農業再生協議 直営、補助	議会、集落営農組織 3、1/6、国定額		事務	■		務 事業 区分	•	実行予算 補助金 その他	事業開始年度	R6 経過年数 1	年度 年度 (年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	#### R10	年度
福井県長期における位		分 野 政 策	〔 成長を創る 〔 農林水産業 <i>の</i>	(産業力))力で福井をブランドで	アップ]	関連する	県の計画等	(次世代へつ画	なぐ、希望	星あふれる	ふくい	の食・農・環	境計 〕	
	の規模拡大	てが進む中、抗 低下が問題とな		や作業員の不足、管	管理の粗加	汝化	・集落営農	を表す客観的ラ 組織の後継 に伴う栽培管	皆不	足(5年以	内に後継	*者を確保				
[事業目的] 園芸産地の 「事業内容]	拡大、水田	日を活用した園	園芸、スマート鳥	農業の実践や経営規	現模の拡え	大に。	よる水田農ӭ	美の経営改善	等、	稼げる農業	業経営の	実現を目	指す〕	取組を支援	する。	

〇スマート農業 ・スマート農業の実践による経営改善に取組む経営体の機械等整備への支援 補助率:1/2

○規模の拡大 ・経営規模の拡大による経営改善に取組む経営体の機械等整備への支援(新規組織化を含む) 補助率:1/3

〇産地の再生 ・産地再生のため、既存ハウスの再整備への支援 補助率:1/3

・規模拡大が困難であるが営農の継続が必要な経営体の機械等整備への支援 補助率:1/6 ○営農の継続

・経営力向上:農業経営アクセラレーションセンターの設置、専門家派遣、就農相談の支援 〇経営支援

・販路拡大 : 販路拡大について専門家を交えて支援

[受益者] 集落営制	農等の担い手農業者	[想定される受益者数]	水田関係:90経営体 園芸関係:60経営体
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 儲かるふくい型農業総合支援事業 (実績) R02 水田関係: 25 園芸関係: 23 R03 ": 16 ": 21 R04 ": 14 ": 30 R05(見込)": 13 ": 13 儲かるふくい型農業総合支援事業の目標等は達成	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	農業者(整備事業)への支援について、市町を通じた間接補助事業として 実施。	他県の状況	富山県 経営面積の拡大や経営の複合化、6次産業化や集落営農の組織化等、と やま型農業経営モデルの実践に必要な農業機械や施設などの導入を支援 補助率 1 / 3

未来に繋ぐふくいの農業応援事業

区分	新規		経費回	区分	政策的経費	要求	基準	内		部局名		農林水産部	3	課名		園芸振	興課		課長名	駒野	雅保
事業主	E体	県	農業再	生協議会、	集落営農組織	等			■自	治事	務		■ 実	[行予算	事業		R6	年度	事業終了		
事業実施	拉方法	直	営、補具	助				事務区分				事業区分	■補	前助 金┃	開始	経i	過年数		予定年度 (見直し年	R10	年度
補助	率	県	1/2,	1/3,	1/6、国定額				┃ □ 法	定受託	事 務		□ そ	その他	年度		1	年	度)		
区分	事	業費			国庫	起]債	そ	の他		一般	財源				国庫、	その他	財源σ)名称等		
予算額		20)8, 313		5, 153							203, 160	農業経営	営法人化	支援総合	事業					
[予算額の推	移等]																			(単位	: 千円)
	区		分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度					令和6	年度予	算額の	増減理	曲			
빌	当初予算	額の	の推る	多					208, 3	13											
2 月	月 現 計 予	算客	頂の扌	隹 移																	
	決 算 額	の扌	推移																		
前年度ま 主な増減 	越理由																				
	区		分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6年度	中間	目標	最終目標			日;	標・指:	標の者	え方・	積算根拠		
成果指標	スマート農	業導					112			6)	(46)		スマー ※その他	ト農業導力 事業含む							
活動指標	水田園芸に 数	取り	組む経		標)				(37	(8)	(378)	(450)	水田園	芸に取り	組む経営	含体数	450経	営体	(R10)		
[事業の評価				K.IIII M. A.C.	a 目 45-11/11				/± = ± ^	和人生中		. ⊢					.	· ** = :: / :	T		
	削年度の	美 稹	・以果	指標等の定	至的評価			美領を蹈	まえた令	和6年度	の変り	史点						業評価			
														」 拡	充 [コ	宿減		終期の見直し	見直	[し額
														□ 継;	続 [□ f	木止		完了		
] 整理	統合[廃止		その他		

スマート農業推進基盤整備事業

区分 継網	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	農林水産部)	課名	克	l芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主体	福井県農業共	<u></u> 斉組合、各地区協議	会	± 24		自 治 事	務		実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施方法	補助			事務区分			│ 事業 │ 区分		補 助 金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R8	年度
補助率	定額			1		法定受託事	務		その他	年度	5	年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野	〔 成長を創る	(産業力)]	関連する	果の計画等	r	次世代へつ	なぐ、希望	星あふれる	ふくい	の食・農・環境	境計)	
における位置付け	政 策	[農林水産業の)力で福井をブランド?	アップ)		ボジョ・回寺	_ \	画					ر	
[解決すべき問題・課	<u>[</u>]					[問題・課題	を表す客観的テ	ータ	!]						
[解決すべき問題・課	<u>.</u>					[問題・課題	を表す客観的テ	ータ	:]						

|農業者の減少や高齢化により農業経営の規模拡大が進み、スマート農業の導入が |・経営規模(1経営体あたり): 16.5ha (H26) →21.9ha (R4) 重要になっている中、スマート農業技術の活用が不十分である。

・担い手数:1.530経営体(H26)→1.349経営体(R4)

[事業目的]

スマート農機による労働力不足の解消や生産費低減等を図るため、技術の導入実証やGPS基地局の利用を促進し、スマート農業を加速的に進める。

[事業内容]

(1) GPS基地局の運営・利用促進

事業内容:基地局の運営管理および基地局利用の説明会開催にかかる費用を補助

実施主体:福井県農業共済組合

(2) スマート農業技術の導入実証

事業内容:環境にやさしい栽培技術および省力化技術を組み合わせたみどり戦略を推進する技術の実証

実施主体:各地区協議会

補助率 : 定額

[受益者] 40ha規模以	よ上の経営体	[想定される受益者数]	250経営体
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 未来に繋ぐふくいの農業応援事業 (役割分担) スマート農機の導入にかかる経費を助成する。
市町との連携状況	・基地局の利用について市町と連携して推進 ・実証事業の協議会運営には市町が参画し、地域マネジメントを行う。	他県の状況	・特になし

スマート農業推進基盤整備事業

区分	継続		経費区分	政策	的経費	要求	基準	内		部原	司名		農林水産部		課名	i	3	國芸振興詞	₹		課長名	駒野	雅保
事業主	体	福井	県農業共	済組合、	各地区協議会	<u>\</u>				自治	台 事	務			実行予	5算	事業	R2	年	度	事業終了		
事業実施	方法	補助	ל					事 務区分					事業 区分		補 助	金	開始	経過年	数		予定年度 (見直し年	R8	年度
補助	率	定額	Į					_ //		法 定	受託事	務	– 73		その	他	年度	5	4	年	度)		
区分	事業	費		国庫	<u> </u>	起	債	そ0	の他			一般	財源				国	庫、その	他財	源の名	名称等		
予算額		25	5, 067		24, 000								1, 067	みど	りの食	料シス ⁻	テム戦闘	佫推進交·	付金				
[予算額の推荐	移等]																					(単位	: 千円)
	区		分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年	度					,	令和6年	度予算	額の増減	理由				
<u> 11</u>	首初 予 算	額の	推移		18, 342	10, 952	8, 216	7, 114	25,	, 067													
2 月	現計予	算 額	の推移	Ş	18, 342	6, 370	12, 419	5, 507			対象協詞	義会勢	数の増加によ	よる境	븰								
	決 算 額	の推	移		13, 816	4, 796	11, 220																
主な増減	での t理由	(·令·令·令和	和3年度]4年度:	から農業 GPSの使用	共済組合への 料増加に伴	の補助は定額 う農業共済	額補助(R2 組合への補	は国1/2、県 開助減)													
[//		- 	o = =			0.5			1==						: 41-14-6	+		*		
					2年度	3年度	4年度	5年度	6年		中間目		最終目標				日倧	. 指標 <i>页</i>	/ 考え	力 • 🕅	頁昇 依拠		
		イセ	ンス	(目標)	(0)	(40)	(100)	(200)	()	220)	(2	20)	(300)	令和	8年度に	こライセ	ンス数	(300					
	7011300			実績	(10)	(16)	107	170		(6)		(6)	(6)										
活動指標	実演会の実	施(回	1)	(目標)	(12) 17	(16) 21	(12)	(12) 8		(0)		(6)	(6)	3協請	議会 × 4	ŀ							
[事業の評価]	1			実績	17	21	23	0															
「サネッ計画」		に績・	成果指標	等の定量的	 勺評価			実績を踏	まえた [・]	令和(6 年度 <i>σ</i>	変更	 [点						事業	評価			
	額 25,067 [aの推移等] 区 分 当初予算額の推移 2月現計予算額の推移 2月現計予算額の推移 決算額の推移 ・ 令和3年度:GF ・ 令和4年度:GF ・ 令和5年度:GF 指標等の推移] 区 分 「GPS基地局ライセンス発行数 に標実演会の実施(回)			知を行っ <i>†</i>			これまでの 説明会を新	実演会の開	骨催に加	ロえ、	NOSAI(よる	県内6か所で	での	□□	拡充 継続 整理統		休止]		終期の見直し 完了 その他	見直	し額

がんばれ特産産地!小さな農業応援事業

					<i>,,</i>	-		,		.							
区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		農林水産部		課名	遠	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主 事業実施 補助 ³	方法	営農集団、 <u>统</u> 補助 1/2	主産者等		事務		自治法定受言	事務	事業区分		実行予算 補助金 その他	事業開始年度	R4 経過年数 3	年度 対 年	事業終了 予定年度 (見直し年	R7	年度
福井県長期における位	ビジョン			(産業力) の力で福井をブランド)	アップ))			の計画等			L なぐ、希望			の食・農・環境	 境計 〕	
[解決すべき	決すべき問題・課題] [問題・課題を表す客観的データ]																
	内の主要品目の既存産地を支える小規模農家が失敗を恐れずに小さな課題解決 兆戦ができる支援が必要である。 ・主要地域等産物の小規模農家数、割合 サトイモ 798経営体 98% ウ メ 212経営体 89%																
[事業目的]							-										
サトイモや	ウメ等既存	序産地を下う	支えしている小さ:	な農家や集落営農糸	組織等の新	新たる	なチャレ:	ノジに	-対して「 [・]	ちょ	い足し」	支援を行	い、地	或特産!	物の生産振	興を図る	5.
[事業内容]																	ļ
道の駅	や直売所と	主連動した額		、生産者等) 拓、地域特産物の 『団、110万円/個人		、既不	存産地の新	がたな	ℷチャレン [⋄]	ジを	支援						

[受益者] 集落営農総	I.織、個人営農者等	[想定される受益者数]	55組織
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 小さな農業チャレンジ応援事業 (実績) 農家の「ちょい足し」100組織支援 有望な少量多品目野菜として、カラフル野菜(ニンジン、カリフラワー)、スナップエンドウ、黒カボチャなどを選定	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	市町と密に連携し、事業を実施	他県の状況	

がんばれ特産産地!小さな農業応援事業

区分	継続	経費	区分 政策	策的経費	要求	基準	内		部局名		農林水産部	3	課	名	3	國芸振興認	Ę	課長名	駒野	雅保
事業主	E体	営農集団	引、生産者等				± 75	■ 自	治	事 務			実行	予算	事業	R4	年度			
事業実施	方法	補助					事 務区分				事業区分	•	補助	カ 金 📗	開始	経過年	数	予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	1/2						□法	定受託	事務			その) 他	年度	3	年			
区分	事業	費	国	車	起	!債	そ(の他		一般	財源				玉]庫、その	他財源	の名称等		
予算額		17, 324	1								17, 324	1								
[予算額の推	移等]																		(単位	: 千円)
	区	分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	•					令和6年	度予算	「額の増減	理由			
뇔	首初 予 算	額の推	移			20, 000	21, 623	17, 3	24											
2 月	現計予	算額の	推移			20, 000	21, 623		補助	対象の	減									
	決 算 額	の推移				19, 107														
主な増減 [成果指標等	《理田	114H O T/18	E:補助対象の																	
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度	中間	目標	最終目標				目標	指標の	考え方	• 積算根拠		
成果指標	「ちょい足 (億円)	し」園芸産	崔出額 (目標) 実績			(130. 1) 130. 1	(130. 9) 130. 9	(131. 4) (1	131. 4)	(132. 5)	既存	序産地 <i>σ</i>)園芸産	出増加額	額 2.4億	:円(R9))		
活動指標	「ちょい足 (人、組織		数 (目標) 実績			(15) 29	(35) 55	(5	5)	(55)	(55)	産地	 bの「た	ちょい足	し」支持	援数・定	善数(R	86までに計55件)		
[事業の評価		5/# # 8	比価なる白目	44 = x / m		ı	中华大学	+: + ^	和人生成	t 0 **	玉 ト						± ₩==	:/ =		
	前年度の	美績・成果	指標等の定量	的評価			実績を踏	まえた令	和6年度	世の変見	<u> </u>						事業評			
														拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
成果指標およ	び活動指標と	∶も目標ど	おり達成した	0		変更なし								継続		休止		完了		4, 299
														整理統	合口	廃止		その他		., 230

ふくいの農業「女性活躍」応援事業

					· i= · i= ·						
区分新	見 経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野	雅保
事業主体 事業実施方法 補助率	営農集団、生産 補助 定額	産者等		事務	■ 自 治 事	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 R6 年度 開始 経過年数 年度 1 年	予定年度 (見直し年	R8	年度
福井県長期ビジョンにおける位置付け		〔 成長を創る(農林水産業の	産業力) 力でふくいをブランドア)		<u># 757 </u> ○県の計画等		なぐ、希望あふれるふく	<u></u> 度) いの食・農・:	L 環境 〕	
[解決すべき問題・記 福井県の基幹的農業 女性農業者が働きや	従事者は、実数・				農業センサ	題を表す客観的 ス2020「11 会 性基幹的農業	年齢別基幹的農	業従事者数」 3056人(44位) 35%(38位)			
[事業目的] 女性の農業への参	画・定着促進を	図るため、働き	やすい環境の整備	等に対して	支援する。						
・省力化機械整備 作業従事する ・女性活躍新規部	動きやすい就労 ^団 応援 女性農業者の負打	坦軽減につなが	る省力化機械の整備	備							

【受益者】 集落営農約	且織、個人営農者等 	[想定される受益者数]	30経営体 (R8まで)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	市町と密に連携し、事業を実施	他県の状況	宮城県 みやぎのキラリ輝く女性応援事業 女性農業者が働きやすい環境づくりのためのトイレや休憩所の整備 女性が活躍できる形での事業の多角化(加工等)の環境整備を支援 (補助率1/2)

ふくいの農業「女性活躍」応援事業

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	外	部	局名	農林水産部	3	課名	遠	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	E体	営農集団	、生産者等					■自	治事	务	□ 実行	行予算	事業	R6	年度			
事業実施	方法	補助					事務区分			事業区分	■ 補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R8	年度
補助	率	定額					- //	□ 法定	受託事		ロそ	の他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	国厂	ŧ	起	債	そ(の他	_	般財源			国	庫、その他	財源の	D名称等		
予算額		20, 000								20, 000								
[予算額の推	移等]																(単位	: 千円)
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度				令和6年	度予算	額の増減理	里由			
当	前初 予 算	額の推	移					20, 000										
2 月	現計 予	算額の	推移															
	決 算 額	の推移																
前年度ま 主な増減 [成果指標等	越理由																	
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標			目標	・指標の考	え方・	• 積算根拠		
成果指標	女性農業者 (人)	者雇用者数	(目標) 実績					(10)	(10	(30)	女性農業	美者の雇用	者増加	数 30人	(R10)			
活動指標	支援経営体 (人、組織	本数 哉)	(目標) 実績					(10)	(10	(30)	支援数・	·定着数(R8まで	に計30件)				
[事業の評価		古佳 代田	化価生の中見	사하계			中结七叻	+ = + . △ 和	C左座のZ	た声上				+	*** == 1	I		
	削年度の	美領・戍朱	指標等の定量	的評価			美 頼を始	まえた令和	り年度の	发史品					業評価		_	_
												拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
												継続		休止		完了		
												整理統	合口	廃止		その他		

スマートグリーン施設園芸推進事業

区分	新規	経費区分	ī t	政策的経費	要求基準	内		部局名		農林水産部		課名	袁	l芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	体	農業生産法.	人等			声 邓		自 治	事務			実行予算	事業	R6	年度	事業終了		
事業実施	方法	補助				事務区分				事業 区分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R10	年度
補助率	率	国1/2 県1/	/10、(市	5町1/10)		- "		法定受討	E 事 矜			その他	年度	1	年	度)		
福井県長期は	ごジョン	分 野	Ĺ	成長を創る(産業力))	即油は	- ス 個 /	の計画等	۲	次世代へつ	なぐ、希望	星あふれる.	ふくい	の食・農・環	境計 ┐	
における位	:置付け	政 策	[農林水産業の	力で福井をブランドで	アップ)		প সং ও	の計画寺	_ \	画					ر	
[解決すべき]	問題・課題]									表す客観的デ	ーク	!]						
本県の耕種	別産出額の	りうち野菜に	ま全国	46位(生産農	農業所得統計2021)	となって	てい	生産農業	所得	統計(202	1	農林水産省	前) 耕	種別産出	額(里	妤菜、 億円)	[全国	順位]
			、気象	に左右されに	こくい安定した生産	産体制を塾	睯備	新潟	309[[24]、石川	9	8[45]、福	井 81[4	46]、富山	↓ 52	[47]		
し振興する	必要がある	5.																

[事業目的]

ICTを活用した環境や生育データに基づく栽培管理に加え、環境に配慮した通年出荷型の大規模園芸施設の整備を行うことで、CO2排出量の削減に寄与するとともに、年間を通して安定した収量・品質を確保し、園芸生産額を向上させる。

[事業内容]

- 1. CO2排出量を削減できる大規模園芸施設の整備 補助率 国1/2 県1/10 市町1/10 実施主体 農業生産法人、生産者集団、公社、JA等
- 2 経営初期の雇用支援
 - 1,000千円/年を5年間補助(県) 実施主体 農業生産法人、生産者集団等

[受益者] 大規模施詞	投園芸農家等	[想定される受益者数]	30経営体(R10まで)
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 スマート施設園芸拡大推進事業 (実績) H 2 5 ~ R 5 大規模園芸施設を 2 4 か所整備	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	大規模園芸施設の建設、栽培装置の導入に際し、1/10を市町が支援	他県の状況	新潟県 園芸振興基本戦略加速化総合対策事業(大規模園芸産地の創出) 販売額 1 億円以上規模の園芸産地の創出に向け、産地自らの課題解決に向 けた取組を支援するとともに、産地の拡大に必要な施設・機械の整備を 支援し、大規模園芸産地の育成を図る (補助率: 国1/2、県1/10)

スマートグリーン施設園芸推進事業

区分	新規	経	費区分	政策	的経費	要求	基準	内	音	3局名	片	農林水産部	ī	課名		園芸振	興課		課長名	駒野	雅保
事業主	主体	農業生	産法人等					76-	■自	治 事	務		□ 実行	行予算	事業		R6	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	補助						事務 区分				事 業 区 分	■ 補	助金	開始	経過	過年数		予定年度 (見直し年	R10	年度
補助	率	国1/2	県1/10、	(市町1	/10)				□ 法定	受託事	下務		ロそ	の他	年度		1	年	度)		
区分	事	業費		国庫	Ī	起	債	そ(の他		一般則	才源			[国庫、一	その他	財源σ)名称等		
予算額		3, 0	000									3, 000									
[予算額の推	移等]																			(単位	: 千円)
	区	分	\		2 年度	3年度	4 年度	5年度	6年度					令和64	丰度予算	算額の増	曽減理	!由			
<u> </u>	当初予算	額の推	推 移						3, 000)											
2 月	月 現 計 予	算額 0	D 推 移																		
	決 算 額	の推利	 多																		
前年度ま 主な増減 	域理由																				
	区	分	>		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6年度	中間目	標	最終目標			目相	票・指	票の考	· え方・	積算根拠		
成果指標	大規模施設額 (億円)	園芸によ	 <る産出	(目標)					(13. 8)	(13	3. 8)	(15. 5)	大規模施	設園芸に	よる産	出額:	15. 5(i	 意円			
活動指標	大規模施設 数	遠園芸の整	ጅ備箇所	(目標)					(25)	((25)	(30)	大規模施 ※他事業	設園芸の での整備	整備箇 数も含	i所数: む	30箇月	沂			
[事業の評価		宝结. 击	,果指標等の	の中昌が	5章亚/东			宝徳太弥	まえた令利	16年度/	7.亦百	占					車	業評価	.		
	削牛及の	天棋・八	,未拍保守(ルた里で	<u>уа+1ш</u>			天根で始	まんだ节州	10 平反0	7发史			14-4		- <i>te</i>					, AT
														拡充		M L	宮減		終期の見直し	見直	し額
														継続	ē C] 位	炸止		完了		
														整理紛	合口] 序	₹止		その他		

夢あるふくいの園芸タウン育成事業

区分	継続	経費区	分	政策的経費	要求基準	内		部局名		農林水産部		課名	遠			課長名	駒野	雅保
事業主	E体	県、JA、	生産者類	集団等		- 3h		自 治 事	務			実行予算	事業	R3	年度	事業終了		
事業実施	拉方法	直営、補助]			事務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	県1/2、国1	/2以内	・県1/10				法定受託	事 務			その他	年度	4	年	度)		
福井県長期		分 野	F [成長を創る	(産業力))	関連する	ス旦 <i>π</i>	D計画等			なぐ、希望	望あふれる	ふくい	の食・農・環境	竟計 _`	
における位	位置付け	政 第	ŧ (農林水産業の	力で福井をブランドで	アップ)	为廷,	v ar ∨.	7回 四 寸	`	画					ر	l
[解決すべき	問題・課題]							[問題・課	題を表	長す客観的デ	ータ]						
					るとともに、新規 <i>5</i> ことが必要である。		早期	• 新規就	農に	数の福井県あたってき	5労し	したこと	「技術	習得」5	5. 5	1 0 人 5 %(調査 <i>)</i>	人数7~	1 0
	E 0/20/	9.CH-LIW	10 41 17	, th.) C TE \C .Q C		1		人) (全	山岸	農業会議所	新力	視 祝辰 百 に	- 関する	調宜報告	'青)			

[事業目的]

県、JA、市町等が連携して、スケールメリットを活かせる園芸タウンを整備し、新規就農者の定着と園芸産出額の拡大を図る。

[事業内容]

1 推進事業

県域プロジェクトチームによるタウンの合意形成と体制づくり 事業実施主体: JA

補助率:県1/2

園芸タウン協議会による産地計画作成、品目や作型の実証

• 産地計画作成 事業実施主体: 県、協議会

・品目や作型の実証にかかる支援 事業実施主体:生産者集団等

補助率:県1/3(市町1/6)

2 整備事業

リースハウス型・・・・ ハウス団地整備、共同利用機械の導入 事業実施主体:JA、生産者集団等

補助率:国1/2以内 県1/10(市町1/10)

露地園芸型・・・・播種、防除、収穫等の機械、育苗ハウス等の共有化 事業実施主体:JA、生産者集団等

| 補助率: 国1/2以内 県1/10(市町1/10)

[受益者] 県内農業者		[想定される受益者数]	約100名
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 若手農業者リースハウス整備事業 (実績) H29~R2にかけて、若手農業者用のリースハウスを計99棟整備	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	県に合わせて市町も1/10以上補助するよう市町と調整し、 協働して事業を実施。	他県の状況	秋田県において園芸メガ団地(産出額1億円産地)を26か所整備 (県20/100)

夢あるふくいの園芸タウン育成事業

	継続	経費区	公 政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	農林水産部		課名	[園芸振興課	!	課長名	駒野	雅保
事業主	E体	県、JA、	生産者集団等	等				■自	治事務			実行予算	事業	R3	年度			
事業実施	拉方法	直営、補助	ከ				事 務区分			事業区分		補助金	開始	経過年数	数	予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	県1/2、国	1/2以内·県1	/10			L //	□法定	受託事務			その他	年度	4	年	度)		
区分	事美	美費	国庫	Ī	起	債	そ(の他	一般	· 以財源				国庫、その ^ん	他財源0	D名称等		
予算額		262, 541		214, 302						48, 239	農山漁	魚村振興交	付金					
[予算額の推	移等]																(単位	: 千円)
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5 年度	6年度				令和(6年度予算	算額の増減	理由			
븰	当初予算	額の推移	;		55, 196	131, 491	73, 233	262, 541										
2 月	2月現計予算額の推移 4 決算額の推移						96, 296		園芸タウン	·整備事業費(の増							
	2月現計予算額の推移 決算額の推移																	
前年度ま						¥費、整備	事業費の ^は	曽										
主な増減	越理由		園芸タウン協園芸タウン整			ī業費、整 備	情事業費の ^は	曽										
	の推移]	令和5年度:		備事業費の	減													
主な増減	越理由				3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標			目相	栗・指標の	考え方・	· 積算根拠		
主な増減	の推移]	令和5年度: 		備事業費の	減			6年度 (0.6)	中間目標 (0. 6)		園芸グ	タウンによ				・積算根拠		
主な増減	の推移] 区 園芸タウン	令和5年度: 	園芸タウン整 (目標) 実績 (目標)	備事業費の	3年度 (0)	4年度 (0)	5年度 (0)	6年度 (0.6)		(7.4)		タウンによってに園芸ター	る販売額	7. 4億円増		・積算根拠		
主な増減 「成果指標等 成果指標	の推移] 図芸タウン 園芸タウン	令和5年度: 分 販売額	園芸タウン整 (目標) 実績	備事業費の	3年度 (0) 0	4年度 (0) 0 (3)	5年度 (0) 0 (3)	6年度 (0.6)	(0. 6)	(7.4)			る販売額	7. 4億円増		・積算根拠		
主な増減 [成果指標等 成果指標 活動指標	が理由の推移] 区 園芸タウン 園芸タウン	令和5年度: 分 販売額 整備箇所数	園芸タウン整 (目標) 実績 (目標)	(備事業費の) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金	3年度 (0) 0	4年度 (0) 0 (3)	5年度 (0) 0 (3) 4	6年度 (0.6) (7)	(0. 6)	(7. 4)			る販売額	7. 4億円増				
主な増減 「成果指標等 成果指標 活動指標 「事業の評価	が理由の推移] 区 園芸タウン 園芸タウン	令和5年度: 分 販売額 整備箇所数 実績・成果指	園芸タウン整 (目標) 実績 (また) 実績 (標等の定量的	ク評価	3年度 (0) 0 (1) 1	4年度 (0) 0 (3)	5年度 (0) 0 (3) 4	6年度 (0.6) (7)	(0. 6)	(7. 4)			る販売額 ウンを10	7. 4億円増か所整備	(R17) 事業評価		見直	し額
主な増減 [成果指標等 成果指標 活動指標	成理由の推移]園芸タウン園 芸タウン計年度の設立、R5に	令和5年度: 分 販売額 整備箇所数 実績・成果指	園芸タウン整 (目標) 実 目標() 実 標等の定量的 (合意) にんき (合き) にんき (もんき)	ク評価 合計4ヵ所整	3年度 (0) (1) 1	4年度 (0) 0 (3)	5年度 (0) 0 (3) 4	6年度 (0.6) (7)	(0. 6)	(7. 4)		でに園芸タ	る販売額 ウンを10 	7. 4億円増か所整備	(R17) 事業評価	т	見直	し額

収入保険加入推進事業

区分	継続		経費区分	ن	政策的経費	要求基準	内		部局名	農林	水産部		課名	屋	園芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	E体	福	井県農業	共済糺	且合		± 24		自 治 事	務	عللد -		実行予算	事業	R3	年度	事業終了		
事業実施	方法	補	助				事務区分				¥ 注 分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	1/3	3(加入者	負担	分)		1 %		法定受託		. /,		その他	年度	4	年	度)		
福井県長期	ビジョン		分 野	ĺ	成長を創る	(産業力))	関連する	県の計画	笙	r		なぐ、希望	望あふれる	ふくい	の食・農・環境	竟計 ₁	1
における位	位置付け		政 策	[農林水産業の	力で福井をブランドで	アップ)		示の可画	र्ग	΄.	画					ر	
[解決すべき	問題·課題]							[問題・課題	を表す客	観的デ	ータ]						
	自然災害	等の	影響に。	よる』	農業者の収入》	載少に対する経営(の安定化		収入保険加]入者数	1,	5	5 2 経営体	‡ (R5	. 4 月現在	王)			
[事業目的]																			

大雨などの自然災害によるもののほか、あらゆるリスクに伴う収入減少に対応するため、収入保険の保険料の一部を支援することにより、農家の収入保険加入を推進 し、農業経営の安定を図る。

加入者が負担する保険料(掛け捨て部分)の補助 補助率 1/3

[受益者] 農業経営者	省(収入保険加入者)	[想定される受益者数]	100経営体
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	7市町で5年産対象の補助制度あり (福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、坂井市、永平寺町)	他県の状況	令和5年度予算で措置: 福島県、千葉県、東京都、石川県、岐阜県、岡山県、徳島県、熊本県

収入保険加入推進事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	内	i	部局名	Į.	農林水産部	3	課名		園芸振!	興課		課長名	駒野	雅保
事業主	E体	福井県農	農業共済組合				± 24	■ 自	治 事	務	+ **		実行予算	事業		3	年度	事業終了		
事業実施	拉方法	補助					事務区分				事 業 区 分	 	補助金	開始	経過	年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	1/3(加	入者負担分)					□法!	定受託	事 務			その他	年度		4	年	度)		
区分	事業	費	国庫	Ē	起	債	そ(の他		一般則	財源				国庫、	その他	財源の)名称等		
予算額		1, 862	2								1, 862									
[予算額の推	移等]																		(単位	: 千円)
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度					令和	6年度予	算額の均	曽減理	曲			
븰	当 初 予 算	額の推	移		86, 083	11, 964	3, 753	1, 80	62											
2 月	月 現 計 予	算額の	推移		73, 061	11, 964	3, 753		補助実	€績に 。	よる減額									
	決 算 額	の推移			56, 179	1, 438														
 [成果指標等	の推移]																			
	区			2年度	3年度	4 年度	5 年度	6年度	中間	目標	最終目標			目	標・指標	票の考	え方・	積算根拠		
成果指標	収入保険加	入者数	(目標) 実績		(2, 000) 1, 463	(1, 600) 1, 542	(1, 650) 1, 598	(1, 750	0)				度NOSA 度:1,650+1			0				
活動指標	収入保険新 援)数	規加入者	(支 (目標) 実績		(850) 344	(300) 119	(100) 96	(100))				度(R6年 E産)の目			び過ぎ	ちの加.	入者の伸びを	考慮して	R6年度
[事業の評価																				
			:指標等の定量的				実績を踏	まえた令	和6年度	の変更	<u> [点</u>					事	業評価	<u> </u>		
事業)を対象とし 入者のみに補助る	して継続・新規 を行った。その	加入者に、5 結果、大規模	リ補助することとし 5 年産(4年度事業 長経営者の加入が追	き)を対象とし ≛むとともに、	ては新規加青色申告者											運		終期の見直し	見直	し額
み、目標達成に3	至らなかった。		ょったが、小規模の 、経営体、69,991円			変更なし							□ 継	続	□ / /			完了		1, 891
	又入平均(経営:	規模)は2,0	00千円程度と判断										□ 整理	統合	□ 廃	止		その他		., 001

ガッチリ稼ぐフルーツ産地推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	農林水産部		課名	遠	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	体	協議会			± 34		自 治 事	務		実行予算	事業	R4	年度	事業終了		
事業実施	方法	補助		事 務区分			事業 区分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R9	年度	
補助基	率	国1/2 (工事		?		法定受託事			その他	年度	3	年	度)			
福井県長期し	ごジョン	分 野	〔 成長を創る	(産業力))	関連する	県の計画等	r	次世代へつ	なぐ、希望	望あふれる	ふくい	の食・農・環	境計 ,	
における位	置付け	政 策	〔 農林水産業の)力で福井をブランドで	アップ)		ポツ計画寺		画					ر	
[解決すべき	問題・課題]						[問題・課題	を表す客観的テ	ータ	7]						
			樹齢・低収化				・ナシの出	¦荷量:H12⋯	1, 5	50t/60ha、	R2…900	0t/50ha				
			:術習得の場が不り	足している				₩ 希望者: H29								
・果樹は植	栽からの未	:収益期間が	長い				・植栽から	成園までのst	F数	: 10年(ナ	ーシ)					
[事業目的]																

園芸カレッジに果樹研修機能を新たに付加し、最新で高度な果樹栽培技術の習得支援を行い、さらに就農園地の成園化までの所得を確保する仕組みづくりを確立させることで、円滑な果樹就農者の育成を図り、県内のフルーツ産地を拡大する。

[事業内容]

1. 講習展示圃場の整備 (30a)

実施主体 協議会(一般) 園芸カレッジに講習展示圃場を整備

2 実習圃場の整備(160a)

実施主体 協議会(国庫 1 / 2 (工事整備費、機械整備費)、一般(その他)) 果樹新規就農者の未収益期間を補うための模擬経営実習を行う実習圃場を整備

[受益者] 果樹園芸参	入者	[想定される受益者数]	8経営体(R9まで)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 夢あるふくいの園芸タウン育成事業 (役割分担) - リース果樹園の整備
市町との連携状況		他県の状況	・特になし

ガッチリ稼ぐフルーツ産地推進事業

区分	継続	経	費区分	策的経費	要求	基準	内		部周	高名	農	農林水産部		課名		園	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	<u>·</u> 体	協議会							自 治	台 事	務			実行予算	事業	Ě	R4	年度			
事業実施	方法	補助					事 務区分					事 業区 分		補助金	開如	台	経過年数	Ż.	予定年度 (見直し年	R9	年度
補助基	率	国1/2	(工事整備費、	機械整備費)				口法	去定:	受 託 事	務	_ ,,		その他	年月	支	3	年	度)		
区分	事	業費	[3	庫	起	遺債	そ0	の他		-	-般則	护源				国盾	を その 作	也財源の	の名称等		
予算額		24, 0	06	7, 908								16, 098	新規京	就農者育成	総合対	策事	業				
[予算額の推稿	移等]																			(単位:	: 千円)
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年	度					令和	6年度	予算客	質の増減理	里由			
	前初 予 算	額の推	基 移			37, 719	71, 339	24,	006												
2 月	現計 予	算額の	推 移			28, 347	50, 997			R4, 5年度	こか	け実施した	と果樹	棚整備の	記了に。	よる派	或				
	決 算 額	の推移	3			30, 223															
前年度ま 主な増減 上な増減 「成果指標等の	建 由	令和5年原	を :圃場整備費	、機械整備書	きの増額																
ENSONAL IN ST	区	分		2 年度	3 年度	4年度	5年度	6年	度	中間目	標	最終目標			E	目標・	指標の	きえ方	 • 積算根拠		
成果指標	果樹の新規		/ D #	!)		(0)	(0)		(0)		(0)		 園芸ナ (R7~	カレッジR5 ~就農)					1227, 1242		
	講習展示圃 場の整備 ((90) 90	(190) 190	(1	190)	(19	90)	(190)	R4は講R5は多	講習展示圃 実習圃場10	場30a、 0a整備	実習	引圃場60a	整備			
[事業の評価]						1															
	前年度の	実績・成	果指標等の定量	直的評価			実績を踏	まえた~	令和6	6年度の	変更	点			1		=	事業評価	西		
÷ == == 18400	<i>-</i> +- 144					A ==				«>- 1 . III	4	.+		□ 拡	充		縮減		終期の見直し	見直	し額
実習圃場100a を ナシ苗の定植 ナシ苗のジョ・	実施					令和4, 5 め、令和6 ト、防蛾灯	年度は整備							□ 総	続		休止		完了		47, 333
														□ 整理	!統合		廃止		その他		, 555

新規就農者支援事業

区分	継続	経費	遣区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		農林水産部		課名	遠	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	体	各市町、	、県			古 改		自治	務			実行予算	事業	H16	年度	事業終了		
事業実施	方法	補助、	定額給付			事務				事業 区分		補 助 金	開始	経過年数	Į	予定年度 (見直し年	R10	年度
補助率	率	県1/2、	市町1/2	2など				法定受託	事 務			その他	年度	21	年	度)		
福井県長期は		分	野	成長を創る	(産業力))	即油土	ス個(の計画等	r	次世代へつ	なぐ、希望	星あふれる	ふくい	の食・農・環	境計	
における位	:置付け	政	策	農林水産業の)力で福井をブランド	アップ)		ᢀᡵᡐ	グロ凹サ	_	画					ر	
[解決すべき	問題・課題]								. —	表す客観的デ		-						
就農希望者や支援する必要		者は資金	や生活	が不安定であり	、行政や関係機関が	一体とな	って			推移(H30~R レッジ入校生		H30:9 R1:31:				1 2 0名 0名、R4:3	0名	

[事業目的]

認定新規就農者(青年等計画の認定を受けた新規就農者)に対する就農環境の整備、経営の早期安定のための支援策を講ずることにより、計画的かつ円滑に新規就農者の育成・確 保、定着を推進する。

[事業内容]

(1)研修支援事業

①受入農家の負担分を助成 補助率 国10/10 ②就農準備資金 補助率 国10/10

(2)経営支援事業

①経営開始資金(原則50歳未満) 補助率 国10/10

②農業次世代人材投資資金(経営開始型)(原則50歳未満) 補助率 国10/10

③就農奨励金(50歳以上60歳未満) 補助率 県1/2 市町1/2

④小農機具等整備奨励金 補助率 県1/4 市町1/4

⑤住宅確保支援事業 補助率 県1/4 市町1/4

(3)施設等整備支援事業

経営開始時の設備投資支援 補助率 国1/2、県1/4

[受益者] 新規就農	皆、就農研修受講者、研修生を受け入れる里親農家	[想定される受益者数]	研修支援事業 ①4名、②34名 経営支援事業 ①34名、②41名、③12名、④17名、⑤7名 施設等整備支援事業 20名
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 新規就農サポート事業 (実績) 研修中および経営開始後の支援を行い、平成15年度までの5年間で67名の就農に結びつけた。しかし、一層の就農者確保の必要から、青年就農給付金(国庫)を取り込むなどして拡充を図った。	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 園芸経営者誘致事業、園芸カレッジ研修事業、越前若狭田んぼ道場事業 (役割分担) 研修生の誘致や農業研修等の実施
市町との連携状況	県 :研修中の支援制度についての申請・交付窓口 市町:就農後の支援制度についての申請・交付窓口	他県の状況	 新規就農者数 石川県123人、富山県84人(R4) 国の新規就農者育成総合対策(就農準備資金・経営開始資金)が全県で運用・各県で独自の就農支援策が運用されている。 〇就農前研修支援 鳥取県(研修費助成1,200千円/年)島根県(研修費助成1,440千円/年)〇就農後支援 島根県(就農奨励金 750千円/年)大分県(就農奨励金1,000千円/年)

新規就農者支援事業

	継続	経費[区分 政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	農林水産部	S	課名	<u></u>	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	体	各市町、!	県					■自	治 事 務		■実	行予算	事業	H16	年度			
事業実施	方法	補助、定	額給付				事 務区分			事業区分	■補	助金	開始	経過年数	Þ	予定年度 (見直し年	R10	年度
補助	率	県1/2、市	5町1/2など					□法定	受託事務		□ そ	の他	年度	21	年	度)		
区分	事業		国庫	<u> </u>	起 ^c	債	そ(の他	——船	財源			国	庫、その個	也財源 <i>σ</i>	D名称等		
予算額		216, 680		183, 977						32, 703	新規就別	農者育成総	合対策					
[予算額の推	移等]																(単位	: 千円)
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5 年度	6年度				令和6年	度予算	額の増減理	里由			
븰	首初 予 算	額の推利	多	179, 706	193, 056	359, 915	254, 724	216, 680										
2 月	現計予	算額の排	隹 移	117, 722	142, 915	144, 523	146, 201		補助対象者	fの減								
	決 算 額	の推移		114, 185	127, 911	134, 666												
前年度ま ・ 対	での	令和3年度	融資主体型を 次世代人材 新メニュー	<mark></mark>	#型、経営						の追加に	よる増						
主な増減	での ^就 理由	令和3年度 令和4年度		殳資資金準備 (機械・施討	構型、経営 骨 と等導入へ(の支援、雇	用就農支援				の追加に	よる増						
	での t理由 の推移]	令和3年度 令和3年度 令和5年度	次世代人材技 新メニュー	受資資金準値 (機械・施語 一部国直採に	構型、経営門 役等導入への こなったたる	の支援、雇用対減(雇用	用就農支援)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	活性化プロ	ジェクト)(よる増	日梅	. 比 梅の=	⋭⋾士	. 建筑 田 伽		
主な増減	での ^就 理由	令和3年度 令和4年度	次世代人材技術メニューメニューが一	受資資金準備 (機械・施語) 一部国直採に 2 年度	構型、経営に 投等導入への こなったたる	の支援、雇用対減(雇用	用就農支援)就農支援)	· 集落営農 6年度	活性化プロ中間目標	ジェクト) (考え方・	· 積算根拠		
主な増減	での t理由 の推移]	令和3年度 令和5年度 一 分	次世代人材技術メニューメニューが一	受資資金準備 (機械・施語 一部国直採に 2 年度 (120)	#型、経営 設等導入への こなったため 3年度 (120)	の支援、雇 対減(雇用 4年度 (120)	用就農支援 就農支援) 5 年度 (120)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	活性化プロ	ジェクト) (呆(R2-R6)			考え方・	· 積算根拠		
主な増減 (重要) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要)	での 対理由 の推移] 区	令和3年度 令和5年度 一 分	次世代人材技術メニューが一メニューが一	受資資金準備 (機械・施語 一部国直採(2 年度 (120) 120	#型、経営 投等導入へに になったた。 3 年度 (120) 121	の支援、雇用 対減(雇用 4年度 (120) 121	用就農支援) 就農支援) 5 年度 (120) 120	6年度 (130)	活性化プロ 中間目標 (130)	ジェクト) 最終目標 (130)	人材確保 年間120	呆(R2-R6)			考え方・	・積算根拠		
主な増減 (重要) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要) (重要)	での 対理由 の推移] 区	令和3年度 令和4年度 令和5年度 分 数/年間	次世代人材 新メニューが- メニューが- (目標) 実績 (目標)	全資資金準備 (機械・施語) 一部国直採(2年度 (120) 120 (148)	#型、経営 设等導入への こなったたる 3 年度 (120) 121 (154)	の支援、雇用 対減(雇用 4年度 (120) 121 (177)	用就農支援) 5年度 (120) 120 (169)	· 集落営農 6年度	活性化プロ中間目標	ジェクト) 最終目標 (130)	人材確保 年間120	呆(R2-R6))名			考え方・	・積算根拠		
主な増減 [成果指標等 成果指標 活動指標	での (理由 の推移] 区 新規就農者 支援制度利	令和3年度 令和4年度 令和5年度 分 数/年間	次世代人材技術メニューが一メニューが一	受資資金準備 (機械・施語 一部国直採(2 年度 (120) 120	#型、経営 投等導入へに になったた。 3 年度 (120) 121	の支援、雇用 対減(雇用 4年度 (120) 121	用就農支援) 就農支援) 5 年度 (120) 120	6年度 (130)	活性化プロ 中間目標 (130)	ジェクト) 最終目標 (130)	人材確保 年間120	呆(R2-R6))名			考え方・	・積算根拠		
主な増減 [成果指標等 成果指標	での (理由 の推移] 区 新規就農者 支援制度利	令和3年度度数力月数大大数	次世代人材 新メニューが- メニューが- (目標) 実績 (目標)	全資資金準備 (機械・施語) 一部国直採(120) 120 (148) 114	#型、経営 设等導入への こなったたる 3 年度 (120) 121 (154)	の支援、雇用 対減(雇用 4年度 (120) 121 (177)	用就農支援) 5年度 (120) 120 (169) 106	6年度 (130)	活性化プロ 中間目標 (130) (212)	ジェクト) 最終目標 (130) (212)	人材確保 年間120	呆(R2-R6))名		で600名	考え方・			
主な増減 「成果指標等 成果指標 活動指標 「事業の評価	での (理由 の推移] 区 新規就農者 支援制度利 前年度の	令和3年度度数 用女 者女 者水 表・成果	次世代人材を対している。 (目集) (目集積での定量的)	全資資金準備 (機械・施語) 一部国直採(120) 120 (148) 114	#型、経営 设等導入への こなったたる 3 年度 (120) 121 (154)	の支援、雇用 対減(雇用 4年度 (120) 121 (177)	用就農支援) 5年度 (120) 120 (169) 106	6年度 (130)	活性化プロ 中間目標 (130) (212)	ジェクト) 最終目標 (130) (212)	人材確保 年間120	呆(R2-R6))名 望者数	5年間で	で600名	事業評価		見直	し額
主な増減 [成果指標等 成果指標 活動指標	での (理由 の推移] 区 新規就農者 支援制度利 前年度の 数 121名	令和3年度度 令和45年 数 用 数 用 実績・→120名	次世代人材	全資資金準備 (機械・施語) 一部国直採(120) 120 (148) 114	#型、経営 投等導入への こなったたる 3年度 (120) 121 (154) 120	の支援、雇用 対減(雇用 (120) 121 (177) 110	用就農支援) 5年度 (120) 120 (169) 106	6年度 (130)	活性化プロ 中間目標 (130) (212)	ジェクト) 最終目標 (130) (212)	人材確保年間120	宋(R2-R6))名 望者数] 拡充	5年間で	で600名 縮減	事業評価	西 終期の見直し	見直	し額
主な増減 「成果指標等 成果指標 活動指標 「事業の評価 ・新規就農者	での (理由 の推移] 区 新規就農者 支援制度利] 前年度の 数 121名 (知者数 110	令和3年度度 一数 用 実 (R4) → 1204 (R4) → 1204	次世代 次 大 大 大 大 大 大 大 二 、 に に に に に に に に に に に に に	登資資金準備 (機械・施語) 2年度 (120) 120 (148) 114 与評価	#型、経営 设等導入へに こなったた。 3年度 (120) 121 (154) 120	の支援、雇用 対減(雇用 4年度 (120) 121 (177)	用就農支援) 5年度 (120) 120 (169) 106	6年度 (130)	活性化プロ 中間目標 (130) (212)	ジェクト) 最終目標 (130) (212)	人材確保年間120	保(R2-R6))名 望者数 」 拡充 」 継続	5年間で	で600名	事業評価	т	見直	し額 38,044

園芸経営者誘致事業

区分	継続	経費	費区分	政	策的経費	要求基準	内		部	局名		農林水産部		課名	<u></u> 袁	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	体	県					+ 34		自	治 事	務			実行予算	事業	H25	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営					事務区分					事業区分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R10	年度
補助率	率	定額					- 7		法 定	受託事	₮務			その他	年度	12	年	度)		
福井県長期と	ビジョン	分	野	[成長を創る((産業力))	F	関連する	■ の	計画生	۲	次世代へつ	なぐ、希望	星あふれる。	ふくい	の食・農・環境	竟計 ₁	
における位	置付け	政	策	[農林水産業の	力で福井をブランドス	アップ)	Į:	対圧する	ボツ	可圖寺	,	画					ر	
[解決すべき]	問題・課題]								[問:	題・課題	を表	す客観的デ	ータ]						
									ふく	い園芸	きカし	ノッジ生σ	0県	外比率						
県内の園	芸の担い書	Fが減少	〉傾向	にある	中、県外な	ぃらのUIターン ネ	者を誘致し	,	R3	43% (13/3	0)								
新規就農者	として呼び	バ込むこ	ことが	重要で	ぎある				R4	50% (15/3	0)								
									R5	30% (9/3	0)								
		•	•	•						•			•				·		•	

[事業目的]

本県の園芸生産を支える新たな担い手と企業的農業経営者を誘致するため、東京、大阪を中心にセミナー等を実施し、県外からの新規就農者を呼び込む。

[事業内容]

- ①希望者に対して就農情報を提供
- ②大規模展示会への出展等や、インターネットを利用した広報活動の実施
- ③県外出身研修生に研修奨励金を給付(600千円/年を2年以内) (2人以上の家族の場合、900千円/年を2年以内)
- ④50歳以上の県外出身研修生に就農給付金(準備型)を給付(900千円/年を2年以内)

[受益者] 新就農希望	捏者、研修生	[想定される受益者数]	就農給付金(準備型)9名、研修奨励金 26名
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 新規就農者支援事業、園芸カレッジ研修事業、越前若狭田んぼ道場事業 (役割分担)
市町との連携状況	市町と合同でセミナー・相談会を開催して、UIターン就農者の確保につなげていく。	他県の状況	○高知県 ・専業農家を目指して研修を受ける場合に、月15万円を最長2年間支給 ○島根県 ・就農予定時原則45歳以上のUIターン者が研修を行う場合に 月12万円を最長1年支給 ・就農時45歳以上65歳未満の認定新規就農者に、年75万円を 最長2年間支給

園芸経営者誘致事業

区分	継続		経費区分) 政策	的経費	要求	基準	内		部)	局名	Ē.	農林水産部		課	名	Ē	園芸振興	課		課長名	駒野	雅保
事業主	<u>·</u> 体	県								自	台 事	務			実行	予算	事業	H2	5 :	年度	事業終了		
事業実施	方法	直宫	営					事 務区分					事 業 区 分		補 郥	⋼金┃	開始	経過年	Ŧ数		予定年度 (見直し年	R10	年度
補助基	率	定額	額							法 定	受託事	務			その) 他	年度	12		年	度)		
区分	事	業費		国庫	i	起 [·]	債	そ0	D他		-	一般則	 材源				Ξ	庫、そ	の他則	は源の	名称等		
予算額		2	2, 621										22, 621										
[予算額の推	移等]																					(単位:	千円)
	区		分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年	度						令和6年	丰度予算	額の増	減理日	±			
	前初 予 算	額の)推 移		38, 720	29, 040	20, 127	26, 859	22	2, 621													
2 月	現計 予	算割	頁の推り	移	18, 145	14, 191	17, 227	16, 709			研修奨励	하金성	ヒ就農給付金	金(差	準備型)の対	象者数源	苋					
	決 算 額	の推	推 移		17, 426	12, 704	14, 923																
前年度ま主な増減	建 由	· 令和	和4年度:	: 県単就農網	合付金 (準値 合付金 (準値 合付金 (準値	睛型)、研	修奨励金の	要望が減少															
[成果指標等(o = =			0.5			1#	日他口语					= 1F.1=	o # *		1± 65 10 160		
	区		分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年		中間目		最終目標								積算根拠		
成果指標	県外出身研 (新規就農			(目標)	(20)	(20)	(20)	(20)		(20)	(20)	(20)	園芸 誘致	カレッ	ジ新規	就農コ	一ス(兌	2員:	30,	人)のうち2	O 人を県タ	外から
	(4)777047672			実績	(250)	(250)	(250)	(250)		(250)	(2	50)	(250)	103-00									
活動指標	県外でのセ	ミナー	一参加人数		258	352	222	179		(230)	(2	30)	(230)	東京	、大阪	页でセミ	ナーを	開催					
[事業の評価]]			実績	230	332	222	179															
		実績・	・成果指標	票等の定量的	り評価			実績を踏	まえた	令和	6 年度の	変更	 [点						事業	業評価	i		
(令和5年度末 ・新規就農コ・		うち9	人を県外に	から誘致												拡充	5 =	縮			終期の見直し	見直	し額
令和5年度は、					がルナこかっ・		県外誘致を	従来よりも	回数	を増や	し、誘致	汝を[図っていく。	o		継続	₹ □	休」	Ł		完了		4 000
あり、当事業に				~ , シ ハ4 ノ、女	10 9 (410°)	,0										整理紛	合口	廃」	Ŀ		その他		4, 238

ふくい園芸カレッジ研修事業

				ふくし	を見る。	カレ	ノツン研	修爭詞	Ē							
区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	農林	水産部	課名	袁	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業:	主体	県			± 247		自 治 事	務	عللد	実行予算	事業	H26	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	直営			事務区分				業 分 □	補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R10	年度
補助	Att E II II II II II II I															
	補助率															
[解決すべき	問題·課題]						[問題・課題	を表す客	観的データ	ጶ]						
県内の原	芸関係の	担い手が減少(頃向にある中、「	- 県外からのUIタ-	ーン者を含	会	園芸生産	者の推	多 ※福	井県園芸レベ	ルアップ	委員会によ	る品目	別の生産者数	の合計(の	つべ人
		析向上を図る		K7170 3 0 2 2 7	- 121	_	数) H24:5,36	2人、H28	3:4, 880.	人、H30:4,	352人、I	R2:3, 965.	人、R	3:3,784人、	R4:3,	194人
[事業目的]																
専門研修	を行うふ	くい園芸カレ [、]	ッジを設置し、	新規就農者を確保す	する。											
[事業内容]																
	農コース 園芸や露り	也栽培、果樹(の模擬経営研修、	、知識習得研修の乳	実施		【対象者】	新たに	園芸で新	が規就農を	目指す者					
_	消コース 所向け品	目の栽培講座	や売り方等につい	ハての講座を実施			【対象者】	新たに	農業を記	し直売所	出荷を開	始する者	、既初	存の直売所	出荷者等	等
_	・ト園芸コ・ !模施設園:		度な栽培知識や∂	経営力を習得する码	研修を実カ	衐	【対象者】	スマー	ト園芸技	支術を用い	た技術で	就農や法	人就	業を目指す	者	

- 4 農業教育高度化事業
 - ・スマート園芸についての研修カリキュラムの強化および高度栽培技術にかかる研修用機械等の整備
- ⑤県外誘致活動
 - ・都市圏での研修生スカウト活動の実施

[受益者] 研修受講会		[想定される受益者数]	73人/年
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 園芸経営者誘致事業、新規就農者支援事業 (役割分担) 研修生の誘致や研修修了後の就農支援の実施、 県内各市町への就農に向けた育成拠点
市町との連携状況	・農地斡旋や就業先、里親の紹介で市町と連携	他県の状況	富山県:「とやま農業未来カレッジ」 実施主体 公益社団法人富山県農林水産公社 研修期間 1年 受講料118,800円 募集人数 15人(最大20人) 石川県:「いしかわ耕稼塾」 実施主体 公益財団法人いしかわ農業人材機構 研修期間 1年 受講料 無料 募集人数 16人

ふくい園芸カレッジ研修事業

区分	継続	経費[区分 政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	農林水産部		課名	<u></u>]芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業:	施方法	県 直営					事 務区 分			事業区分	□補	行予算 i助金 の他	事業 開始 年度	H26 経過年数 11	年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10	年度
区分		業費	国庫	Ē	起	債	そ(の他		段財源			国	L 庫、その他	1)名称等		
予算額		24, 624		11, 099			(諸) (財)	1, 362 240		11, 923	農業高原	度化教育事	業					
[予算額の推	[移等]																(単位	: 千円)
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度				令和64	F度予算	額の増減理	■由			
į	当初予算	額の推利	移	9, 705	18, 224	12, 792	11, 896	24, 624										
2)	月現計予	算額の	惟移	9, 926	16, 736	12, 724	11, 800		機械導入に	伴う増(スピ	゚ードス	プレーヤ-	ー、マニ	アスプレッ	ッター、	環境制御装置	<u>:</u>)	
	決 算 額	の推移		9, 391	16, 736	11, 676												
前年度記主な増減	咸理由		度:高度栽培技 度:高度栽培技															
[成果指標等		分		0.左座	3年度	4 年度	r 左南	6年度	中間目標	最終目標				指標の者	× = +	非常 扣伽		
成果指標	新規園芸生		 (目標) 実績	2 年度 (53) 118	(73) 68	(73) 61	5 年度 (73) 63	(73)	(73)	(73)	新規就是	農(前年度			-	マート園芸		
活動指標	カレッジ入	.校者数	(目標) 実績	(53) 99	(73) 70	(73) 61	(73) 63	(73)	(73)	(73) ¥	盺規就鶶	農コース30	人、地產	産地消コー	ス40人、	、スマート園	芸コースの	3人
[事業の評価				:-				15145							- 414 I			
[令和5年度/ ・新規就農□ ・地産地消□	入校生] 1ース:30人		指標等の定量的	的評価			実績を踏	まえた令和	6年度の変	更点		1 拡充	E 🗆	縮減	■業評価	i 終期の見直し	 見直	

越前若狭田んぼ道場研修事業

区分継	続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		農林水産部		課名	遠	l芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主体 事業実施方法 補助率		県 直営、委託 -			事務。区分		自 治 法定受訊	事	事業区分		実行予算 補 助 金 そ の 他	事業 開始 年度	R元 経過年数 6	年度 [年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10	年度
福井県長期ビジョン における位置付け		分 野 政 策	〔 成長を創る 〔 農林水産業 <i>0</i>	(産業力))力で福井をブランド)	アップ]	関連す	⁻ る県(の計画等	[次世代へつ 画	なぐ、希望	星あふれる	ふくい	の食・農・環	境計	
[解決すべき問題・記 集落営農組織等 術、機械操作技術	ー の後			力となるための技行	術力(栽均	音技	水稲部	門の	表す客観的デ 新規就農者 R1:44人、	· 皆()	‐ 就業者含む			、R5:	: 62人		

[事業目的]

集落営農組織等の後継者やオペレーターを育成するため、「越前若狭 田んぼ道場」を開講し、本県の水田農業の維持・発展を目指す

[事業内容]

①後期研修 4月~10月実施

(機械操作実習)

代かき、田植え、収穫

(座学研修・現地研修)

育苗研修、刈払安全取扱研修、生育診断·管理、水稲乾燥調製研修、県内農業法人等視察 (大型特殊運転免許講習)

②前期研修 1~3月実施

(座学研修・現地研修)

水稲栽培基礎、各農業支援制度、トラクター・コンバインメンテナンス、スマート農業、農作業安全

(機械操作実習)

畔塗り

【対象者】 集落営農組織や認定農業者の就業者・オペレーター従事者で、就業して間もない者

[受益者] 研修受講生	<u> </u>	[想定される受益者数]	20人/年
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 新規就農者支援事業 (役割分担) 研修生の就農・定着に対する支援
市町との連携状況	・研修生募集について住民への周知協力を得る。	他県の状況	富山県「とやま農業未来カレッジ」 実施主体:公益社団法人富山県農林水産公社、研修期間:1年、募集人数:15人(最大20人)、農業全般の研修の一部として、水稲を学ぶ 石川県「いしかわ耕稼塾」 実施主体:公益財団法人いしかわ農業人材機構、研修期間:1年、募集人数:16人、研修期間1年の「本科」にそれぞれ、野菜・花き・果樹・水稲・畜産の独立したコースを設置

越前若狭田んぼ道場研修事業

区分	継続		経費区分	政策	的経費	要求	基準	内		部局	名	農林	水産部		課	名	į	園芸振興	課		課長名	駒野	雅保
事業主	体	県							■ 自	治	事	務			実行	予算	事業	R₹	Ē	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営	、委託					事 務区分				事	阝業 函分		補助	3 金	開始	経過4	丰数		予定年度 (見直し年	R10	年度
補助基	率	_						_ //	□法	定受	そ 託 事 き		_ /,		その	他	年度	6		年	度)		
区分	事	業費		国庫		起 [·]	債	そ0	D他			般財源	į				[3	国庫、そ	の他!	財源の	名称等		
予算額		7	, 273										7, 273										
[予算額の推稿	移等]																					(単位	: 千円)
	区		分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度	Ę						令和64	F度予 算	算額の増	減理	由			
	首初 予 算	額の	推移		15, 388	8, 808	7, 894	7, 729	7, 2	273													
2 月	現計予	算 額	の推利	多	15, 388	8, 808	5, 549	7, 729		カ	リキュ	ラム内	容見直	しによ	よる減								
	決 算 額	の推	移		14, 567	7, 349	4, 682																
前年度ま 主な増減 正で増減	注理由	令和44	年度:カリ	リキュラム	整備完了に 内容見直し 内容見直し	による減																	
	区				2年度	3年度	4 年度	5年度	6 年度	Ŧ [中間目標	長 最終	終目標					■■	の考	<u>え方・</u>			
5 - 11.1-				(目標)	(120)	(120)	(120)	(120)	(13		(130		(130)										
成果指標	新規就農者	数/年	<u>=</u>	実績	120	121	120	120						農業	産出額	およひ	過去の	実績等な	NらE	は標を記	没定		
江手北地	「越前若狭	田んほ	 〔道場」	(目標)	(20)	(20)	(20)	(20)	(2	20)	(20))	(20)	\n + '	2 · Æ	クーレエット	rr 88 i — 4	ハルフか	+8 >+	1	者数の平均1	7 よ、こ 体	1111
活動指標	受講生数			実績	25	31	23	28						迎去、	3ケ平(ノノ 八州市	砂にコパーな	いる新	况法.	人别未	有数の平均口	/人かり昇	.ш
[事業の評価]																							
	前年度の	実績・	成果指標	等の定量的	り評価			実績を踏	まえた令	3和6:	年度の変	更点					1		事:	業評価			
令和5年度受講	隻生(R6年1	月~R6	年10月研	修):28名			特になし									拡充					終期の見直し 	見直	し額
,1714V 干/又 火 畔	, <u> </u>	,, 100	I ~ \	re/ . 201			1416.0									整理紛					その他		456

「OTAMESHI(お試し)」就農事業

区分	継続		経費区分		政策的経費	要求基準	内		部局名		農林水産部		課名	袁	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	体	県					± 24		自 治 事	務			実行予算	事業	R4	年度	事業終了		
事業実施	方法	直	堂				事務区分				事 業 区 分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R7	年度
補助基	率	_							法定受託	事 務			その他	年度	3	年	度)		
福井県長期日		:	分 野	ĺ	成長を創る	(産業力))	関連する	、 国の	計画生	r	次世代へつ	なぐ、希望	望あふれる,	ふくい	の食・農・環	境計 ,	
における位	置付け	į	政 策	[農林水産業の	力で福井をブランドで	アップ)		テンス	前四寸	_ \	画					ر	
[解決すべき	問題・課題]								[問題・課題	0を表	す客観的デ	ータ]						
	茨	۱+	级 学组提	っ tr	ナが准むーフ	- 方で、オペレータ-	-の主給ん	L 45	大規模水田			-							
後継者不足				EUJ 1)/A		りて、オペレーメ	の一回を	L (9	• 40ha以」				7: 59経営		R2:214紀				
	10 12K 27 10		• •						・専従者数	女(昇	星用型)	必	要数408人	(8, 155h	na/20ha)	に対	しR2:311人	•	

[事業目的]

|民間を活用して県内外から就業希望者を誘致し、市町と連携した集落営農法人等でのインターンシップ型研修を通してマッチングすることにより、適した農業人材を |確保・育成する。

[事業内容]

①就農希望者の誘致

農業求人サイトを活用して県外からの就業希望者を確保

②インターンシップ型研修(「OTAMESHI(お試し)」就農) 2か月間、2農業法人にて農業に従事し(研修費支給)マッチング

[受益者] 研修生		[想定される受益者数]	研修生:10名
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 越前若狭田んぼ道場研修事業 (役割分担) マッチングにより就業した人材の技術力(栽培技術、機械操作技術等)のレベルアップ
市町との連携状況	お試し就農の受入れ先(集落営農法人)は、市町の推薦により選定	他県の状況	福島県:多様な担い手確保支援事業 人材派遣会社が、求人サイト等で人材を募集し、4か月間のお試し就農 を実施。県は、募集や派遣社員の人件費などを支援。 島根県:しまねアグリビジネス実践スクール「集落営農コース」 人材派遣会社が人材を募集し、最長1年間、集落営農組織等に派遣。 県は、募集や派遣社員の人件費などを支援。

「OTAMESHI(お試し)」就農事業

区分	継続	経	費区分	政策的	勺経費	要求	基準	内	Ę	8局名		農林水産部		課名		袁	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	E体	県						76	■ 自	治 事	務	suc		実行予算	事	業	R4	年度			
事業実施	方法	直営						事務区分				事業区分		補助金	金	始	経過年数	ţ	予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	_							口 法5	定受託	事 務			そのイ	也	度	3	年	度)		
区分	事美	美費		国庫		起	!債	そ(の他		一般	財源				国厂	車、その(也財源0	D名称等		
予算額		5, 9	70									5, 970									
[予算額の推	移等]																			(単位	: 千円)
	区	分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度					令	和6年度	予算	額の増減	里由			
빌	当初予算	額の推	養 移				10, 669	6, 025	5, 97	0											
2 月	月 現 計 予	算額の)推移				4, 143	3, 834		誘致費	の見ī	直しによる	減								
	決 算 額	の推利					3, 981														
主な増減 [成果指標等																					
	区	分			2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度	中間	目標	最終目標				目標	指標の表	きえ方・	· 積算根拠		
成果指標	新規就農者	数/年		目標)			(120) 120	(120) 120	(130) (130)	(130)	農業点	産出額お	よび過	去の実	2績等から	目標を	設定		
活動指標	インターン 受けた新規		/ 生	目標)			(25)	(10)	(10)	(10)	(10)	雇用	型経営体	におい	て専従	者となる	就業者	数を設定		
[事業の評価		宇结:武	田七冊生の	字 是的:	== /==			中结大败	士 = + - △ =	11.6 左 庄	の赤田	5 上					7	≠ ※ 示 /:	F.		
	削年度の	美領・ ル	果指標等の	正 里的	音半1四			- 美領を蹈	まえた令和	110年度	の変す	さい こうしゅう						事業評価			_
就農フェア等	での就農相	淡件数が	昨年度より [.]	やや少さ	なくなっナ	ことに加									拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
え、現制度でいという声も	は会社員等	が長期休	暇等をとっ	て研修	を受けるこ	ことが難し	「お試し就	t農」の事業 美要領を改₃	美要領を見 Eする。	直し、働	きな:	がらも研修 [·]	でき		継続		休止		完了		55
なった。														□ 整	理統合		廃止		その他		30

米粉普及拡大推進事業

区分継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野	雅保
事業主体	県	= 34	自 治 事	務	■ 実行予算	事業 R5 年度	事業終了		
事業実施方法	直営	事務 区分		事業区分	口補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R7	年度
補助率	_		法定受託		□ その他	年度 2 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野 〔 成長を創る(産業力))	関連す <i>2</i>	県の計画等		なぐ、希望あふれるふくい	の食・農・環境	竟計)	
における位置付け	政 策 〔 農林水産業の力でふくいをブランドア	ップ]			画				
[解決すべき問題・課題			[問題・課題	種を表す客観的デ	" —タ]				
	県農業再生協議会の生産数量の目安により割当られ	ており、農家	A 10 4 F F	-		٠٠٠ - ١ ٠٠ - ١٠			
は増産できない。 収益増加のためには	加工用米への転作に取組む必要があるため、米粉の	雲 要の増加を			目安減少:2, 76 :532_ha減少	DZT減少			
は図る必要がある。	加工用水、砂块件已水桶包免费等砂心气砂、水树砂	而女の指加さ		工注曲預/成夕・	OUZ Halles, 9				
 [事業目的]									
┃ ┃ 現在、低アレルゲン	で健康によい食品として米粉に注目が集まっている	。米粉加工用:	米の品種選定	や米粉特性指	標の作成を行し	い、農家および食品加工等	業者の課題を	取り除ま	き、米
	とで、農家の加工用米の増産とそれに伴う所得向上		IVV HH I X		N = 1 N = 1 1	· AZANOON O ZEHANE		-10. 2 193.	- \ //\
[事業内容]									
	~ オト エホーニキ エ◇ /曲 ササーニヤ エ◇エロ ン								
	の栽培試験(農業試験場) した米粉加工用専用品種・栽培方法の特定								
個月末の外内に過	した水が加工用等用曲性 核石が及び特定								
[受益者] 農業者等			[想定され	しる受益者数]	約75万人				
	■無				■ 無				
	□ 有 事業名				□ 有 즉	事業名			
前事業の有無・実績	(実績)			業の有無・	(役割分担)				
刑事未の行無・天順			役!	割分担					
						すぐい 炒/ 生!! □º 	 **		
市町との連携状況			他県	い状況	新潟県産米粉及 山形県米粉利用	び米粉製品プロモーション 助成事業	争耒		

米粉普及拡大推進事業

区分	継続	経費	过区分 政策	传的経費	要求	基準	内	咅	局名	農	林水産部	3	課名	名	<u></u>	芸振興課		課長名	駒野	雅保
事業主	E体	県					- 古 玖	■ 自	治事	務	古 **		実行	予算	事業	R5	年度			
事業実施		直営					事務区分				事業区分		補助		開始 年度	経過年数	牧	予定年度 (見直し年	R7	年度
補助		_						口 法定	受託事	務			その	他		2	年	度)		
区分	事	業費	国月	車	起	!債	70	の他		一般財	·源				国	庫、その	他財源の	の名称等		
予算額		29	9								299									
[予算額の推	移等]																		(単位	: 千円)
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度						令和6年	度予算	額の増減	理由			
놸	首初 予 算	額の推	移				299	299)											
2 月	現計 予	算額の	推移				299													
	決 算 額	の推移																		
前年度ま 主な増減 [成果指標等	找理由																			
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年度	中間目	標量	最終目標				目標	・指標の	考え方	• 積算根拠		
成果指標	一般農家の 培、品質評)圃場での記 [[] 価(件)	式験栽 (目標) 実績				(0)	(0)		(1)	(1)	R6ま 一般	でに農	業試験場試験裁場	易で試馴 音を行し	検栽培した い品質を評	:ものを 呼価	:評価・選抜し	、R7以降	さらに
活動指標	栽培試験叵]数	(目標) 実績				(1)	(1)		(1)	(1)	食品培を	品加工研 ∶実施	究所で写	尾施予 兄	ピの品種の	うち、	県外品種8種類	について	に試験栽
[事業の評価		5 4 -	北海佐る古目	44 = T /TT			中华土山			· + =	-		1				±			
	削牛度の	美額・放果	! 指標等の定量	的評価			美額を踏	まえた令和	16年度0)変更に	<u> </u>						事業評値			
														拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
農業試験場に	て8品種の詞	忧験栽培▪┆	評価を実施した	-0		変更なし								継続		休止		完了		
														整理統領		廃止		その他		

儲かるふくい型農業総合支援事業

区分	終了	経	費区分	政策的経費	要求基準	内		部	局名		農林水産部		課名	遠			課長名	駒野	雅保
事業3				会、集落営農組織	. 等	事 務		自	治事	務	事 業		2413 3 31	事業	R2	年度	事業終了 予定年度		
事業実施		直営、		/6、国1/2、国	⇒ ¢5	区分]	:+ =	亚千百	= 3⁄7	区分		補助金	開始 年度	経過年数		(見直し年	R5	年度
福井県長期における位	ビジョン	原 	野 策	〔 成長を創る		アップ]]]		受託 関連する		計画等	(その他		】 4 計画	年	度)]	
[解決すべき	問題・課題]						[問題	題・課題	夏を表	す客観的デ	ーク	7]※2020農	林業センサ	ナスより				
	[問題・課題を表す客観的データ]※2020農林業センサスより 農業経営の規模拡大が進む中、担い手の高齢化や作業員の不足、管理の粗放化 こよる収量・品質の低下が問題となっている。 ・規模拡大に伴う栽培管理の粗放化 (5年前と比較し40.4%/経営体の面積拡大)																		
[事業目的]								!											
園芸産地の	が拡大、水	田を活月	月した園	園芸、スマート	農業や雇用導入に。	よる水田鳥	農業の	の規模	禁拡大 ^会	等、作	諸かる農業	業経	営の実現	を目指す	取組を支	援す	る。		
[事業内容]																			
〇園芸支援	(産地拡:			也育成や水田園 田地化に対する	芸の拡大のため、野 支援	野菜、果樹	討、才	花きの)園芸(こ新7	たに取り	組む	場合や、	規模拡大	に必要な	機械	・施設等整	備	

〇水田支援(規模拡大)・スマート農業型 :ICT農業機械の導入による規模拡大を図るための機械整備に対する支援

・新規雇用型 : 越前若狭田んぼ道場やUIターンによる新規就農者等を雇用して規模拡大を図るための機械整備に対する支援

・営農の継続 : 規模拡大が困難な小規模経営体が営農を継続していくための機械装備に対する支援

・集落営農活性化型:農地の持続的利用に必要な経費および共同利用機械整備に対する支援

〇経営支援・経営力向上:農業経営相談所の運営、専門家派遣、集落営農等の法人化に対する支援

・販路拡大 : 販路拡大について、専門家を交えて支援

[受益者] 集落営農	等の担い手農業者	[想定される受益者数]	水田関係:90経営体 園芸関係:60経営体
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 収益性の高い水田農業経営確立支援事業 (実績) H29 水田関係: 20 園芸関係: 9 H30 ": 25 ": 16 R01 ": 20 ": 16 集落営農組織等への集積率がH75.6%(H28)から80.6%(H30)まで向上し、水田園芸の産出額も7.5億円(H28)から11億円(H30)へ上昇した。	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	農業者(整備事業)への支援について、市町を通じた間接補助事業として 実施。		富山県 経営面積の拡大や経営の複合化、6次産業化や集落営農の組織化等、と やま型農業経営モデルの実践に必要な農業機械や施設などの導入を支援 補助率 1 / 3

儲かるふくい型農業総合支援事業

区分	終了	経費	区分 政治		要求	基準	内		部局	名	農林	木水産部		課	名	園芸振興課			課長名	駒野	雅保			
事業主	E体	県農業再	生協議会、集	落営農組織	等		75		自 治	事				実行	予算	事業		R2		事業終了				
事業実施	方法	直営、補	亅				事 務区分				→ 号	事業区分		補助	か 金	開始	· ;	経過年数	Ţ	予定年度 (見直し年	R5	年度		
補助	率	県1/3	、県1/6、国	1/2、国定	額				法定受	受託事				その) 他	年度		4	年	度)				
区分	事業	費	国	車	起 [·]	債 その他 一般財源									国庫	、その作	也財源♂	D名称等						
予算額																								
[予算額の推	移等]																				(単位	: 千円)		
	区	分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年	度						令和6	年度予	算額	の増減理	里由					
놸	首初 予 算	額の推	移	217, 045	270, 485	311, 352	213, 387																	
2 月	現計 予	算額の	推移	212, 683	200, 928	240, 266	188, 932																	
	決 算 額	の推移		202, 754	194, 238	222, 227																		
前年度ま 主な増減 [成果指標等	対理由	• 令和 4 年	E度 自動操船 E度 集落営農 E度 自動操船	活性化型(剧	農地の持続的	的利用に必										る増 								
ENSORTH IN 13	区			2年度	3年度	4 年度	5年度	6年	E度 I	中間目標	最	終目標				月	標・	指標の着	きえ方・	 · 積算根拠				
				(214)	(226)	(238)	(250)			(250			10ho	、土日・七古 い	LLAS			250経営(
成果指標	40ha規模以	上の経営体	*数 ^{`口<i>'示/</i> 実績}	214	226	238	250			25		250	%₹0	の他事業	含む	古 143	汉 2	200社 呂 1	(CA) 4					
				(15)	(17)	(19)	(21)			(21	1)	(21)												
活動指標	水田園芸の	増加額	実績	15	17	21	22			2	22	22	水田	園芸♂)産出額	211	意円	(R5)						
[事業の評価]			人根		I.		L																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価							実績を踏	まえた	令和6	年度の変	更点							Ę	業評値	5				
															拡き	E		縮減		終期の見直し	見直	し額		
成果指標およっ 了。	び活動指標と	≤も目標を	達成し、新規	事業予算化 <i>0</i>	ため終										継糸	t		休止		完了	213, 387			
															整理約	合		廃止		その他		210, 007		

スマート施設園芸拡大推進事業

区分	終了	経	費区分	政策的経費	要求基準	内	部局	部局名 農林水産部			課名	遠	芸振興課		課長名	駒野	雅保		
事業主	事業主体農業生産法人等							自 治	事	務	+ **		実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	方法	補助				事務区分					事 業 区 分		補 助 金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R5	年度
補助基	率	国1/2	県1/10.	(市町1/10)		- "		法 定 受	・ 託事				その他	年度	4	年	度)		
福井県長期し	ビジョン	分	野	成長を創る)	見見ご	関連する県の計画等				新ふくいの		ו					
における位	置付け	政	策	農林水産業の)力で福井をブランド	アップ)	天以	主り る;	示り引	四寸	Ĺ	利のくいり	辰未卒平市				ر	
[解決すべき	[解決すべき問題・課題]										[問題・課題を表す客観的データ]								
本県の耕種別産出額のうち野菜は全国46位(生産農業所得統計2019)となってい										得統詞	† (201		農林水産省		種別産出	l額(里	野菜、億円)	[全国	順位]
る。園芸生産額を増大するには、気象に左右されにくい安定した生産体制を整備 新潟 317[24]、石川 97[44]、福井 81[46]、富山 56[47]																			

[事業目的]

ICTを活用して収量・品質の向上を図り、大規模ハウスによる通年出荷型のスマート施設園芸を支援。

[事業内容]

- 1. スマート園芸施設の建設、栽培装置の導入 補助率 国1/2 県1/10 市町1/10 実施主体 農業生産法人、生産者集団、公社、JA等
- 2 経営初期の雇用支援

し振興する必要がある。

1,000千円/年を5年間補助(県) 実施主体 農業生産法人、生産者集団等

[受益者] 大規模施	設園芸農家等	[想定される受益者数]	30経営体(R5まで)
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 自然光利用型の連棟ハウス整備事業 (実績) H 25~R 1 大規模園芸施設を15か所整備	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	スマート園芸施設の建設、栽培装置の導入に際し、1/10を市町が支援	他県の状況	富山県 競争力強化生産総合対策 農産物処理加工施設、生産技術高度化施設、集出荷貯蔵施設整備 補助率 1/2

スマート施設園芸拡大推進事業

区分	終了	経費区	公 政策	的経費	要求	基準	内		部局名	農	農林水産部		課名	1	遠	芸振興詞	₹		課長名	駒野	雅保		
事業主	体	農業生産活	长人等					■ 自	治 事	務			実行予	算	事業	R2	年		事業終了				
事業実施	方法	補助					事 務区分				事業区分	.	補助	金	開始	経過年	数		予定年度 (見直し年	R5	年度		
補助基	率	国1/2 県	1/10、(市町	1/10)			_ ,,	□法	定受託事	事 務	- 7		その	他	年度	4	4	年	度)				
区分	事業	費	国庫	Į.	起·	債	その	D他		一般則	才源		国庫、その他財源の名称等										
予算額																							
[予算額の推和	移等]																			(単位	: 千円)		
	区	分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度					4	令和6年	度予算	額の増減	理由						
聖	当 初 予 算 額 の 推 移 151,918 239,338					100, 900	274, 465																
2 月	2 月 現 計 予 算 額 の 推 移 111,750 336,580						273, 996		施設整備箇所の増加による増														
	決算額	の推移		16, 641	238, 895	99, 202																	
前年度ま主な増減	での 理由	R 2 年度は R 3 年度は福	Bの規模によ 券山市でイチ 冨井市でキュ 数賀市でキュ	ゴ栽培鉄骨/ ウリ栽培鉄情	骨ハウスお	よび栽培装	置、5,049r	n゚を整備。	国経済対	策に。	より2年度	2月に	前倒	L.									
[成果指標等(//			- 		- 	- 		- I=						±1= a			- AA- 10 160				
	区	分		2年度	3 年度	4 年度	5 年度	6年度		* *	最終目標				日標	• 指標 <i>0</i>)考え,	力・預	算根拠				
	スマート園 出額(億円	芸施設による	る産 (目標)	(6. 3)	(7. 5)	(9. 1)	(15. 5)			5. 5)	(15. 5)	スマー	- ト園:	芸施設(こよる店	全出額	R5 15.	. 5億円	3				
			実績	11. 3	12	12	13. 1			13. 1	13. 1												
活動指標	スマート園 数	芸施設整備的		(18)	(22)	(26)	(30)			(30)		(30) R5までにスマート園芸施設30箇所(累計)											
 [事業の評価]			実績	17	20	22	24			24	24												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価								まえた令	和6年度の	の変更	<u></u>		事業評価										
・越前市および し、2経営体に ・整備箇所数が	対して経営 が24箇所にと	初期の雇用3	支援を実施。 :め成果指標(:	は未達成とな										拡充継続				□ 終	・期の見直し 完了	見直	し額 274, 465		
業見直し年度となり、次期事業での達成を目指すため終了。													整理統	合 口	廃止	[その他		<i>L14</i> , 400			

地域で育てる園芸人材サポート事業

区分 終了	経費区分	政策的経費	内		部局名	農林水産部			課名	園芸振興課			課長名	駒野	雅保	
事業主体市町・JA・公社等						自 治 事	務	車 業		実行予算	事業	R2	年度	事業終了 予定年度		
事業実施方法補助				事務区分				争 未 区 分		補 助 金	開始	経過年数	Į	(見直し年	R5	年度
補助率	国1/2・県1/1	0、国定額、国1/2			法定受託	事 務			その他	年度	4	年	度)			
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 政 策	〔 成長を創る① 農林水産業の	アップ))	関連する県の計画等				[新ふくいの農業基本計画)		

[解決すべき問題・課題]

[問題・課題を表す客観的データ]

園芸カレッジ研修生の就農地が、坂井北部丘陵地や三里浜砂丘地等に集中している。

園芸カレッジ修了者のうち、坂井北部丘陵地・三里浜砂丘地での就農者数 H29入校:16人/30人、H30入校:26人/31人、R1入校:14人/28人、R2入校:13人/28人

[事業目的]

ふくい園芸カレッジ研修生が希望する地域で就農できるように、2年目の研修施設として市町が整備する人材育成拠点の整備を支援する。

[事業内容]

人材育成拠点の整備

内 容 パイプハウス整備、研修施設整備、農舎・集出荷施設整備、農機整備等

補助率 国1/2、県1/10

農業教育の高度化

内 容 研修機関の教育カリキュラム強化と研修用機器の購入

補助率 国1/2、10/10

就農サポート体制の構築

内 容 就農相談体制の整備

補助率 国1/2

[受益者] 園芸カレ	ッジ研修生	[想定される受益者数]	園芸カレッジ研修生:10名
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	 □ 無 ■ 有 事業名 ふくい園芸カレッジ研修事業、新規就農者支援事業、園芸経営者誘致事業 (役割分担) 研修生の誘致や、ふくい園芸カレッジでの研修、研修終了後の就農支援の実施
市町との連携状況	県事業に連動した補助を実施	他県の状況	佐賀県:トレーニングファーム推進事業 実施主体 農協、市町等 内 容 研修用ハウス、機械施設等の整備 補 助 率 県10/10

地域で育てる園芸人材サポート事業

区分	終了	経費	陸区分 政策	的経費	要求	要求基準 内 部局		部局名	名	農林水産部		課名			園芸振興課			課長名	駒野	雅保		
事業主	体	市町・。	A・公社等						自 治	事			実行	予算	事業 R2		R2		事業終了			
事業実施	方法	補助					事 務区分				事業区分	•	補助	カ 金	開始	経過:	丰数		予定年度 (見直し年	R5	年度	
補助፯	率	国1/2・	県1/10、国定額	夏、国1/2					法 定 受	託事務			その) 他	年度	4		年	度)			
区分	事	業費	国国	Ē	起	債	そ0	D他		— #	设財源				Ξ	国庫、そ	の他	財源の)名称等			
予算額																						
[予算額の推和	多等]																			(単位	: 千円)	
	区	分		2年度	3年度	4 年度	5年度	6年	度					令和6	年度予算	算額の増	減理	由				
当	前初 予 算	額の推	移	28, 742	11, 831	9, 000	8, 000															
2 月	1 現 計 予 算 額 の 推 移 28,742 8,800						4, 000		国	事業お。	び補助率変	更に。	よる減									
	決 算 額	の推移		28, 742	6, 500	4, 000																
前年度までの 主な増減理由 令和4年度 人材育成拠点整備対象が少なくなったことによる減 令和5年度 国事業および補助率変更による減																						
[成果指標等の																= 1\-1=		~	1+ hh 10 lbn			
	区	分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年	-	中間目標					日程	ま・指標	の考	ス万・	積算根拠 			
成果指標	人材育成拠 (人数)	『点による		(0)	(0)	(2)	(4)			(4)	(4)	人材	材育成拠点による就農者:2名/年									
			実績	0	0	(0)	2			/ 4	2 2											
活動指標	人材育成拠 (箇所)	『点の整備	(目標)	(1)	(2)	(3)	(4)			(4)	(4)	人材	育成扱	』点を4:	カ所整備	#(累計)					
 [事業の評価]			実績	I	2	3	4			,	4 4											
「サネツ計画」		実績・成界	見指標等の定量的	<u></u> 內評価			実績を踏っ	まえた゛	令和6年	年度の変	更点						事	業評価	<u> </u>			
														拡充	5 🗆	縮	戓		終期の見直し	 見直	<u></u> し額	
人材育成拠点(坂井、福井、美浜、奥越)が整備完了したため終了。													継続] 休.	<u> </u>		完了		8, 000		
														整理約	合 □] 廃.	Ŀ		その他		0, 000	